

# 令和3年度藤里町社会福祉協議会事業報告書

## 【 法人運営部門 】

○法人運営部門は、適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整等、社協事業全体のマネジメント業務を行いました。

### 1) 法人運営

#### ◎理事会の開催

- ① 令和3年6月2日（水）（理事出席9名・欠席1名 監事出席2名）  
議案 令和2年度藤里町社会福祉協議会事業報告（案）について  
令和2年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告（案）について  
令和2年度藤里町社会福祉協議会監査報告について  
定款の変更について  
評議員候補者の推薦について  
評議員選任・解任委員会の招集について  
評議員選任・解任委員会委員の選任について  
「福祉サービスに係る苦情解決実施要綱」における第三者委員の委嘱について  
令和3年度 藤里町社会福祉大会について  
令和3年度藤里町社会福祉協議会定時評議員会の招集について
- ② 令和3年6月16日（水）（理事出席9名 監事出席2名）  
議案 任期満了による会長・副会長の選定について
- ③ 令和3年10月8日（金）（理事出席9名 監事出席2名）  
議案 令和3年度 第45回藤里町社会福祉大会における被表彰者について
- ④ 令和3年12月8日（水）（理事出席8名・欠席1名 監事出席2名）  
議案 定款の変更について  
土地、建物及び動産売買契約の締結について  
基金の取崩について  
令和3年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について
- ⑤ 令和3年12月20日（月）（理事出席9名 監事出席2名）  
議案 令和3年度歳末たすけあい運動配分（案）について

- ⑥ 令和4年1月19日(水) (理事出席7名・欠席2名 監事出席2名)  
議案 経理規程の改定(案)について  
令和3年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について  
令和3年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について
- ⑦ 令和4年3月17日(木) (理事出席8名・欠席1名 監事出席2名)  
議案 令和3年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について  
経理規程の改定(案)について  
定款の変更について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会事業計画(案)について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会収支予算(案)について  
役員等賠償責任保険契約の締結について  
令和3年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について

#### ◎評議員会の開催

##### ① 定時評議員会

- 令和3年6月16日(水) (出席17名・欠席6名・監事出席1名)  
議案 令和2年度藤里町社会福祉協議会事業報告(案)について  
令和2年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告(案)について  
令和2年度藤里町社会福祉協議会監査報告について  
定款の変更について

- ② 令和3年12月15日(水) (出席18名・欠席2名)  
議案 定款の変更について

- ③ 令和4年1月24日(月) (書面決議)  
議案 令和3年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について

- ④ 令和4年3月23日(水) (書面決議)  
議案 令和3年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について  
定款の変更について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会事業計画(案)について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会収支予算(案)について

#### ◎監事会の開催

- 令和3年5月24日(月)  
令和2年度藤里町社会福祉協議会業務について  
令和2年度藤里町社会福祉協議会収支会計について

## 2) 財務運営・管理

◎適正な担当者の配置

◎外部監査の実施 北林会計事務所 月1回 他3回(決算・消費税・年末調整等)

## 3) 自主財源確保に向けた体制づくり

◎社協会員加入促進

令和3年度 加入状況

・一般会員	994世帯	}	83.7%
・特別会員	55世帯		
・団体会員	2団体		

## 4) リスク管理・コンプライアンス管理体制の整備

◎第三者委員会議の開催

日時 令和3年11月29日(月) 14:00~15:30

場所 総合福祉センター 相談室

出席 5名(第三者委員2名 社協3名)

内容 藤里町社会福祉協議会の事業について  
福祉サービスに係る苦情解決体制について

◎第三者委員研修会の開催

① 令和3年12月15日(水) 13:00~16:00 初級編

② 令和3年12月20日(月) 13:00~16:00 上級編

場所 くまげら館

受講 2名(第三者委員1名 社協地域包括1名)

内容 福祉サービスに関わる苦情解決研修会(WEB)

主催 秋田県運営適正化委員会

◎介護保険事業所内研修の実施

## 5) 計画的な採用・異動・人事考課等の人事管理

◎人事考課制度の実施

## 6) 研修・能力開発等の計画的な人材育成

◎職員の資格取得研修助成

7) 労働法制に基づいた労務管理

- ◎就業規則等の見直し
- ◎社会保険労務士への委託

8) 所轄庁への届出や対外的な法的対応を行う法務に関する業務

9) 将来ビジョンの検討と進行管理

- ◎役員研修の充実
- ◎地域の福祉ニーズの把握（報告・連絡・相談用紙の活用）
- ◎福祉事業の効果・評価
- ◎「社協発展・強化計画」策定の是非の検討

10) 法人としての災害時対応とBCP（事業継続計画）の策定・推進

11) 広報活動・広報戦略等

- ◎広報「社協だより」の発行 5回発行（No.198～No.202）  
200回記念号では、町民100人アンケートを行い、色んな「藤里町に残したいもの」を集めて発信しました。

◎第45回藤里町社会福祉大会&こみっと感謝祭の開催

日時 令和3年10月30日（土）10：30～12：00

会場 福祉の拠点こみっと

オンライン会場 町内7地区会館 社協デイサービス・ぶなっち

参加者 130名

内容 表彰 表彰伝達式 こみっと&プラチナバンク活動発表  
オンラインで動画配信&交流

◎藤里町社会福祉協議会表彰伝達式の実施

新型コロナ感染症拡大で秋田県社会福祉大会が中止となったため開催しました。

日時 令和3年10月30日（土）

場所 福祉の拠点こみっと 大会議室

参加者 被表彰者4名 他126名

内容 全国社会福祉協議会会長表彰 1名

秋田県知事表彰 2名

秋田県社会福祉協議会会長表彰 1名

◎福祉座談会の開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

◎福祉教育校の指定（共同募金委員会と連携）

- ・藤里小学校、藤里中学校を福祉協力校として指定

◎福祉教育の推進（共同募金委員会と連携）

- ・藤里小学校

長引くコロナ禍により町の様々な行事や福祉施設への訪問など多くの活動が中止となってしまった。しかし、「畑サポーター」の協力のもと畑の苗植えを行うことができ、それに通ずる活動を行うことができた。令和4年度からはコミュニティスクールとなるため児童の充実した体験活動の為にも、藤里町の素晴らしい人的・物的財産を活用するなど行政や関係機関と連携しながら地域全体での福祉教育を進めていきたい。

#### 主な活動

地域住民や祖父母による「畑サポーター」の活動

全校生徒で学校花壇への花苗の植え付け、農作物の収穫

1、2年生 幼稚園児とサツマイモの苗の植え付け、収穫作業

幼稚園児との交流クリスマス会

3年生 市日で、サツマイモの販売

5年生 稲刈り体験、福祉の拠点「こみっと」での接客体験

- ・藤里中学校

今年度は地区での清掃ボランティア、雪かきボランティア、ペットボトルキャップ集め等様々な活動を行った。活動の振り返りを見ても実際の地域での奉仕活動を通して生徒が得たものは大きい。特に自分たちでできることを行い「町の人のためになろう」「町を支えよう」という思いが育ってきていると感じる。また、地域の人と交流するいい機会となっている。ボランティア活動の実施を後押しし、見守ってくれる自治体がほとんどであり、生徒への温かい声かけなどが次の活動への意欲につながっている。来年度はコロナへの対策をしつつ交流の機会を探っていきたい。

#### 主な活動

JRC 登録式

花壇整備作業、一人一鉢運動、花壇の花苗植え

緑の羽根募金（6,747円を藤里町緑地化推進委員会へ納めた）

地区ボランティア（7月26日（月） 公民館や公共施設の清掃活動）

藤中祭（9月5日（日）開催 社協デイサービスにオンライン中継）

赤い羽根共同募金（7,900円を藤里町共同募金委員会へ寄付）

雪かきボランティア（1月28日（金）公共施設等で実施）

ペットボトルキャップ集め

◎ホームページでの情報発信

藤里町社会福祉協議会事業、行事等の説明・紹介  
藤里町社会福祉協議会の活動予定、活動報告

◎藤里体験プログラムの作成と発信

## 【 地域福祉活動推進部門 】

○地域福祉活動推進部門は、地域の組織・関係者の協働を促進する、地域福祉推進の中核的な役割を担いました。

1) 調査の実施や福祉座談会の開催、他部門との連携に基づく地域生活課題の把握

◎在宅障がい者等の状況調査 報告・連絡・相談等の活用

◎安心安全体制整備事業に関する意識調査の継続 報告・連絡・相談等の活用

◎福祉座談会の開催 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

2) 藤里町地域福祉計画策定への参画、藤里町地域福祉活動計画の策定と検証

◎地域福祉計画及び地域福祉活動計画の評価・見直し 報告・連絡・相談等の活用

3) 地域生活課題を踏まえた政策提言等のソーシャルアクションの実施

4) 小地域ネットワーク活動の推進・(活躍) 支援

5) 生活支援体制整備事業の実施

◎生活支援コーディネーター及び就労的活動支援コーディネーターの配置

◎地域包括支援センター・地域活動支援センター・トータルケア推進事業(CSW)等と連携し、一体的な生活支援体制を整備

◎まち自慢クラブ事業の実施

自称60歳以上の方が登録。町自慢の方々が、ときには生徒、ときには講師として、町の良い所を学び、体験し、語り合う「まち自慢講座」「山菜ランチ」「源泉かけ流し温泉」が自慢のクラブです。開催日時 火～金 10:00～14:00

登録者数 140名

実施回数 161回

延べ参加人数 621名

まち自慢講座回数 161回(72種類)

まち自慢講師数 35名

応援ボランティア数 108名(各地区婦人会、ボランティア団体へ依頼)

応援ボランティア活動回数 151回

内指定まち自慢クラブ(通所型A) 実人数9名 延利用回数220回

感染予防で、山菜バイキングは「山菜ランチ」「お持ち帰り弁当(2月22日～)」に変えて提供。また、新型コロナ感染症拡大のため1月25日～28日(4日間)、2月1日～18日(12日)、3月25日～31日(4日間)は中止しました。

◎家族介護支援事業（在宅介護者の集い事業）

介護者の方同士のリフレッシュや意見交換を目的とした交流事業です。藤里町ボランティア団体連絡協議会及び精神保健福祉ボランティア等の方々との合同研修として開催しました。

新型コロナ感染症拡大のため、宿泊事業に変え、日帰りで3回に分けて実施しました。

- ① 令和3年11月25日（木） 参加者20名（内介護者6名 社協5名）
- ② 令和3年11月30日（火） 参加者20名（内介護者1名 社協4名）
- ③ 令和3年12月 3日（金） 参加者20名（内介護者7名 社協5名）

場所と内容 秋田内陸縦貫鉄道乗車体験等

秋田内陸縦貫鉄道 安藤醸造（北秋田市、仙北市）

- ④ 令和4年3月25日（金）

場 所 福祉の拠点こみっと 大会議室

参加予定者 8名（内介護者6名） 社協3名

内 容 権利擁護について学ぼう

講 師 藤里町社会福祉協議会事務局長 菊地孝子

※北部地区（みんなの縁側事業）とオンラインでつながり「成年後見制度」等について講習会を行う予定でしたが、新型コロナ感染症拡大で開催は中止。

参加予定者の方々には当日資料を届けました。

◎みんなの縁側事業

在宅介護者や地域の方々に、暮らしや介護についての情報をお届けする出前型に変えて各地区で開催しました。参加者同士での意見交換や交流も行いました。

○令和3年4月16日（金）10時～14時 藤里町総合開発センター 1名

○令和3年5月～7月 藤里町総合開発センター及び福祉の拠点こみっと 0名

○令和3年8月27（金）10時～11時 矢坂 婦人・若者等活動促進施設8名

○令和3年9月24（金）10時～11時 大沢 けやきの館10名

○令和3年10月22（金）10時～11時 中通会館4名

○令和3年12月17（金）10時～11時 粕毛公民館7名

○令和4年1月21（金）10時～11時 米田交流会館6名

○令和4年2月～3月 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

実施回数9回 延参加人数36名

◎成年後見制度利用支援事業

- ・専門相談所の開設（毎月1回及び必要に応じて随時開設）

「保健・福祉・法律」の専門家による相談所を定期的に開催しました。地域住民の困りごとが深刻化しないように、専門家との相談の機会を町内で確保しました。

17件受付（保健関係2件 福祉関係2件 法律関係13件）

◎福祉用具・住宅改修支援事業

◎認知症サポーター等養成事業 まち自慢クラブで実施

6) 安心・安全体制づくり（重層的支援体制整備事業）（活躍支援プロジェクトと協働実施）

☆新たに就労的活動支援コーディネーターを配置し、

地域包括支援センター機能・地域活動支援センター機能・トータルケア推進事業（CSW）

機能・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）機能を活かし、一体的に運営することで、地域共生社会の実現を目指しました。

7) 活躍支援の拠点づくりプロジェクトの発足（安心・安全体制づくりと協働実施）

◎活躍支援の拠点づくりプロジェクト

- ・仕事づくりの拠点「農村環境改善センター」の受託運営

- ・施設利用（延利用人数 80名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
部屋	15名	0名	0名	4名	0名	0名	4名	0名	0名	3名	0名	0名	26名
宿泊	0名	4名	0名	9名	2名	0名	5名	17名	17名	0名	0名	0名	54名

- ・入浴利用（延利用人数 4,989名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大人	415名	446名	375名	419名	371名	416名	494名	406名	378名	371名	399名	463名	4953名
子供	3名	4名	1名	3名	1名	0名	3名	4名	1名	9名	1名	6名	36名

- ・歴史民俗資料館（延利用人数 34名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6名	5名	4名	2名	2名	7名	1名	7名				

・白神まいたけキッシュの製造販売

町特産のまいたけを使用して、白神まいたけキッシュを製造・販売しました。

(売上合計 1,561個 2,365,098円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
90個	112個	126個	141個	147個	96個
136,157円	159,898円	173,102円	204,983円	227,166円	143,717円
10月	11月	12月	1月	2月	3月
140個	171個	282個	61個	67個	128個
215,774円	252,992円	460,580円	98,921円	97,978円	193,830円

※個包装の販売分含む

・こみっとうどんの製造販売

讃岐生まれの白神育ち「こみっとうどん」を製造・販売しました。

(売上合計 230,464円)

通常販売	74袋	35,964円
贈答用販売	34箱	67,000円
卸	農村環境改善センター(山菜ランチ)	120,600円
その他	教育委員会(藤里中学校ふるさと学習)他	6,900円

・栗製品の製造販売

藤里産の栗を使用して「栗ブラウニー」及び「栗の渋皮煮」を製造・販売しました。

(売上合計 177,387円)

栗ブラウニー	619袋	143,787円
栗の渋皮煮	140袋	33,600円

・FUJISATO グッドデリの製造販売

藤里の山菜と昔から伝わる食の知恵を活かして和のおかずを製造・販売しました。

(売上合計 1,015袋 641,685円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
50袋	50袋	88袋	100袋	112袋	53袋
25,110円	92,470円	45,630円	56,610円	59,590円	27,675円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
69袋	118袋	202袋	79袋	38袋	56袋
40,380円	69,670円	128,400円	42,660円	24,195円	29,295円

※数量に卸含まず

・畑の収穫物の販売

藤里産の「大豆」及び「小豆」を販売しました。

(売上合計 21,320円)

大豆	20袋	8,000円
小豆	42袋	13,320円

・山菜ランチ（来客延人数1,434名 売上額計 1,012,450円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	146名	102名	169名	171名	105名	150名
売上額	104,200円	75,050円	126,900円	131,800円	78,700円	104,100円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
149名	143名	169名	65名	6名	59名
103,000円	95,800円	111,300円	44,800円	4,000円	32,800円

※感染予防で、山菜バイキングは「山菜ランチ」「お持ち帰り弁当」に変えて提供しました。

・根っこビジネスの展開

根っこビジネスの促進、新商品の開発、山菜ランチ、お食事処こみっとの運営

⇒プラチナバンク等の活用、「食」を活かした交流

・地域の団体、ボランティア等の活躍支援

・「こみっと」機能、「農村環境改善センター」機能の効率的運営の検討

#### ◎研修センター開設の検討及び試行

職業体験プログラムの充実から、藤里方式による活躍支援実践講座開設を試行・検討しました。

#### ◎家事力向上研修

- ① 令和3年7月30日（金） 17:30～18:30 「入門編 マナー編」 13名
  - ② 令和3年8月3日（火） 16:15～17:15 「トイレ掃除編」 9名
  - ③ 令和3年8月5日（木） 15:00～16:00 「台所掃除編」 5名
  - ④ 令和3年8月10日（火） 15:00～16:00 「洗濯編」 6名
  - ⑤ 令和3年8月17日（火） 16:15～17:15 「特別編 水回りのお掃除」 8名
  - ⑥ 令和3年8月19日（木） 17:00～18:00 「調理編」 8名
  - ⑦ 令和3年9月14日（火） 15:30～16:30 「特別編 水回りのお掃除」 13名
- 会場 福祉の拠点こみっと

#### ◎福祉用具専門相談員講習の実施

第1回福祉用具専門相談員講習修了者 4名（通学11月1日～11日） 8日間

#### ◎介護福祉士実務者研修の実施

第4回介護福祉士実務者研修修了者 9名（通学5月11日～10月27日）就職率56%

第9回介護職員初任者研修修了者7名（通学10月21日～12月20日）就職率57%

※秋田県委託訓練（離職者等再就職訓練知識等修得コース）として実施

第4回介護福祉士実務者研修受講者5名（通信令和4年2月1日～7月31日）

◎社会福祉士・精神保健福祉士等実習生の受け入れ

令和3年度実習受け入れ実績 3名

・秋田看護福祉大学学生

精神保健福祉援助実習

令和3年9月13日（月）～9月28日（火） 10日間 2名

ソーシャルワーク実習

令和4年2月17日（木）～3月23日（水） 23日間 1名

・能代支援学校

令和3年度高等部現場実習

令和3年6月2日（水）～令和3年6月8日（火） 5日間 1名

8) 住民主体の福祉活動、生活支援サービスの推進・支援

◎団体活動の育成・支援（共同募金委員会との連携）

・老人クラブ連合会

・身体障がい者協会

・手をつなぐ育成会

・遺族会

・ボランティア団体連絡協議会

◎各団体等の合同研修・情報交流事業

9) 当事者組織の育成・支援

◎むつみ会交流会事業（一人暮らし高齢者交流会）

一人で暮らす高齢の方は、生活上で様々な不便を抱えています。会員同士の交流と情報交換の場として実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大のため、5回の予定が1回の開催となりました。

令和3年12月21日（火）まち自慢クラブ（湯の沢農村環境改善センター）

「そうだったのか！マイナンバーカード」 15名参加

◎在宅介護者の集い事業 合同研修会として開催

◎知的障がい者家族交流事業 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

◎をとこ組事業

藤里町の全世代の男性を対象に、多彩なメニューで実施しました。

① 令和3年 9月24日（金）

場 所 能代市二ツ井町

内 容 カヌー体験

参加者 4名

② 令和3年10月12日（火）

場 所 偕楽荘

内 容 陶芸

参加者 4名

③ 令和3年11月24日（水）

場 所 能代スポーツセンター

内 容 ボウリング

参加者 7名

④ 令和3年12月16日（木）

場 所 御成座（大館市）

内 容 映画館で映画鑑賞

参加者 10名

⑤ 予定 令和4年1月24日（月） 12：30～16：30

場所 木の学校（能代市）

内容 干支“寅”の組み木を作ってみよう

5回目は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

◎まち自慢クラブ事業

◎子育て世代支援事業

チャイルドシート等の貸出事業

乳幼児の安全と健やかな子育てを支援することを目的として、藤里町社会福祉大会のチャリティーバザーの収益金を活用し、チャイルドシート等の無料貸出事業を行いました。

貸出件数計5件

チャイルドシート 4件

ジュニアシート 0件

ベビーベッド 0件

ベビーバウンサー 0件

ベビーカー（A型 B型） 1件

ベビーバス 0件

◎お買い物ツアー事業

月4回（毎週金曜日） 登録者32名 実施回数46回 延利用人数389名

◎生活管理指導員派遣事業 実利用人数 2名 延利用回数 62回

◎軽度生活援助事業 0件

◎プラチナバンク事業の充実 ⇒就労的活動支援コーディネーターの配置

会員の活躍支援を推進するためのプラチナスタッフ(各作業の担当)を7名配置して、初めて参加する人などのサポート体制を作り、活躍の場を増やしました。

プラチナバンク事業での活躍

プラチナバンクは「働くかたち」や「働きかた」など、個人の生活スタイルや希望にあわせて登録。自分の力を活かせる、全世代型の地域活性化人材バンクです。

・登録会員 401名(男性149名・女性252名)

・就労状況

請求件数	就労延人数	収入額
481件	8,435名	32,412,830円

・作業内容

町民バス運転	65件	399時間
福祉バス運転	44件	176.5時間
大型車運転(マイクロバス等)	1件	2時間
普通車運転(公用車等)	47件	167.5時間
移送サービス(介護)	257件	750時間
移送サービス(障害)	39件	116時間
社協デイサービス介護	98件	717時間
社協デイサービス看護	41件	325.5時間
社協厨房調理	776件	2,940時間
こみっと業務	202件	1,218時間
ぶなっち日直	26件	26回
社協配食弁当配達	12件	18時間
改善センター受付・掃除	900件	4348.5時間
改善センター宿直	12件	12回
改善センター環境整備	38件	211.5時間
こみっと厨房調理等	117件	269時間
ヘルパー訪問介護	1,644件	1409.5時間
菓子製造	241件	1257.5時間
改善センター調理補助	316件	1797.5時間
草刈り	102件	413時間
草集め	13件	40時間
剪定(教育委員会)	1件	4時間
草刈り(教育委員会)	13件	31.5時間
草集め(教育委員会)	4件	9.5時間

草刈り（浄化センター）	36件	53.5時間
草刈り（土地改良区）	4件	2日
草取り	48件	245時間
軽作業（冬囲い他）	5件	13.5時間
除雪	228件	431時間
総合福祉センター館内清掃	361件	361回
総合福祉センター除雪	39件	204時間
くまげら宿直	365件	365回
くまげら日直	122件	122回
開発センター日直（平日）	242件	242日
開発センター日直（土日祝）	118件	118日
開発センター除雪	134.5件	113.5時間
開発センター軽作業	3件	14時間
米田プール軽作業	2件	2時間
中学校巡視	365件	730時間
根っこ作業（根っこ堀り）	89件	522時間
栗拾い・菜採り	62件	299時間
山菜・大豆・根・粉処理（皮むき他）	316件	1,710時間
畑作業（草取り等）	60件	307時間
畑耕起	5件	9時間
薬剤散布	2件	6時間
特養藤里	248件	1519.5時間
水の館	6件	45時間
アルビオン	69件	385.5時間
役場宿直	337件	337回
役場日直	90件	90回
役場宿日直	33件	33回
荷物運搬	1件	1時間
墓地公園掃除	1件	3時間
屋内清掃等	28件	75.5時間
通院等介助	7件	20.5時間
障子張り	2件	14時間
衣類修繕	4件	18時間

・プラチナバンク事業：こみっと活動分

・就労状況

請求件数	就労延人数	収入額
117件	1,414名	5,237,165円

・作業内容

社協ヘルパー 事務補助 201件 1388.5時間

ぶなっち 掃除	175 件	506 時間
社協グリストラップ	21 件	21 時間
改善センター掃除	165 件	483 時間
改善センター受付	14 件	101.5 時間
改善センター屋外清掃	3 件	6.5 時間
キッシュ製造	60 件	148 時間
特養藤里 介護補助業務	190 件	1,140 時間
特養藤里 洗濯清掃業務	308 件	2,002 時間
日赤事務補助	9 件	27.5 時間
はがき宛名印刷	1 件	57 枚
除排雪事業	1 件	0.5 時間
改善センター 根っこ・山菜	19 件	48 時間
墓地公園掃除	2 件	6 時間
一般宅草取り	4 件	8 時間
墓掃除	2 件	2 時間
デイサービス（見守り）	239 件	1,879 時間

#### 10) ボランティアセンターの運営

#### 11) 福祉教育・ボランティア学習の推進⇒地域を支える人づくり

##### ◎おもてなし部隊の設置

##### ◎精神保健福祉ボランティアの活躍支援

こころの健康や福祉、精神障害についての理解を深め、みんなが暮らしやすい地域づくりのために、何ができるかを考えることを目的にステップアップ研修を行いました。

(事業対象者：平成21、22、23、26年度精神保健福祉ボランティア養成講座修了者58名 こみっと共同事務所登録団体 こみっと利用者)

##### ステップアップ実習

実施日 令和3年10月30日（土）10：30～12：00

場 所 福祉の拠点こみっと及び各地区会館（オンライン会場）

参加者 6名

内 容 第45回藤里町社会福祉大会&こみっと感謝祭でのオンライン交流

##### ステップアップ研修

① 令和3年11月25日（木）参加者20名（内精福ボラ3名 社協5名）

② 令和3年11月30日（火）参加者20名（内精福ボラ5名 社協4名）

③ 令和3年12月 3日（金）参加者20名（内精福ボラ5名 社協5名）

場所と内容 秋田内陸縦貫鉄道乗車体験（視察・見学・交流）

秋田内陸縦貫鉄道 安藤醸造（北秋田市～仙北市）

◎ボランティア活動の活性化

ボランティア団体連絡協議会の活動支援

ボランティア団体相互の連絡調整並びに情報交換を図り活動を効果的に進めました。

登 録 9 団体 = 9 5 名

主な活動 湯の沢農村環境改善センター等でのボランティア活動

※コロナ禍にて感染状況を見ながら、6、7月 特養にて衣類のほつれ縫い等、  
11、12月 社協デイサービスお誕生会（1～2名）のボランティア活動

研修会の実施

① 令和3年11月25日（木）参加者20名（内ボラ連 6名 社協5名）

② 令和3年11月30日（火）参加者20名（内ボラ連10名 社協4名）

③ 令和3年12月 3日（金）参加者20名（内ボラ連 3名 社協5名）

場所と内容 秋田縦貫鉄道乗車体験（鷹巣駅から角館駅）

秋田内陸縦貫鉄道 安藤醸造（北秋田市～仙北市）

1 2) 災害ボランティアセンターの運営等

1 3) 地域福祉財源の造成、助成事業の実施

1 4) 共同募金委員会と連携した共同募金・歳末たすけあい運動の実施等

令和2年度募金総額 1, 175, 224円（目標1, 206, 000円）

上記内 令和3年度助成金額 639, 766円

令和2年度助成金繰越額 131, 365円(コロナによる福祉大会中止分)

◎共同募金助成金を活用して下記の福祉事業を実施しました。

○安心・活躍支援事業（地域交流事業・広報活動事業）、共同募金運動推進事業

藤里町社会福祉大会&こみっと感謝祭 むつみ会

社協だより発行 ホームページの充実等

子育て世代の活躍支援事業（チャイルドシート等貸出事業）

◎歳末たすけあい運動の実施

募金総額 429,556円(戸別募金 1,028戸)

配分内訳

要介護者	25人	
上記介護者	25人	
在宅障害者(児)等	8人	
町内福祉施設(特養藤里・虹のいえ)	2施設	
虹のいえグループホーム	3カ所	
グループホーム美里園	2カ所	
出生祝い(タオルセット)	6件	
	71件	366,300円
運動諸経費(のし袋等)		93,256円
		<u>429,556円</u>

【 相談支援・権利擁護部門 】

○相談支援・権利擁護部門は、地域住民のあらゆる生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護事業、情報提供・連絡調整を行いました。

1) 総合相談体制整備事業

◎暮らし支援コーディネーターの配置

◎総合相談体制の構築（早期発見・早期対応システムにより活躍支援に繋げる）

- ・地域の福祉ニーズの早期発見・早期対応 報告・連絡・相談用紙の活用
- ・高齢者虐待・障がい者虐待・児童虐待等の早期発見・早期対応
- ・苦情処理体制の整備
- ・通常相談 7, 007件受付

日常業務の中で、相談、要望、苦情、危険等を見逃さず拾い上げることができるように、全職員で統一様式「報告・連絡・相談」の活用を徹底しました。その内容を検証することで、気づきを増やし、業務の改善へつなげる体制を強化しました。

内 容	相談	ヒヤリハット	苦情	認知症	その他	計
介護関係	2, 384	1, 355	176	559	138	4, 612
障害関係	342	7	78	0	6	433
その他	1, 287	198	43	2	63	1, 593
雪	258	94	12	0	5	369
計	4, 271	1, 654	309	561	212	7, 007

◎生活困窮者自立支援事業受託運営

こみっと支援事業を一部転換

伴走型支援事業（自立支援相談）

就労訓練事業

家計改善支援事業（金銭等管理支援事業） 利用者数17名（内新規1名 終了4名）

◎地域包括支援センター受託運営

- ・地域ケア会議の開催

担当者会議 21回開催

移送サービス、生活支援ハウス利用申請等について協議  
（役場・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等）

ケース検討会 44回開催

- ・ケアマネジメント機能の強化支援
- ・ケアマネジメントリーダー活動支援事業の実施

◎地域活動支援センター受託運営

◎コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

◎障がい者虐待防止センターの受託運営

◎指定相談支援事業所の運営

- ・ 特定相談支援事業
- ・ 障がい児相談支援事業
- ・ 地域移行・地域定着支援事業

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
11件	19件	21件	18件	6件	15件	7件	8件	19件	9件	8件	20件	161件

◎指定自立生活援助事業所の運営（障害者総合支援事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
					1件	1件	1件	2件	2件	2件	2件	11件

◎居宅介護支援（ケアマネ）事業所の運営

- ・ 居宅介護支援事業
- ・ 介護認定調査の受託 175件
- ・ 介護予防支援業務の受託

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援・総合事業	43件	41件	46件	44件	46件	47件
要介護	120件	118件	118件	118件	120件	117件

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
44件	44件	46件	38件	34件	41件	514件
120件	118件	116件	111件	109件	110件	1,395件

2) 日常生活自立支援事業の受託 利用者数 8名（内新規2名 終了1名）

### 3) 権利擁護支援に関する事業

#### ◎成年後見制度利用支援事業

- ・ 専門相談所の開設
- ・ 弁護士への法律相談対応の業務委託
- ・ 法人後見事業の実施に向けた体制整備

### 4) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付	0件	0円
生活福祉資金貸付(コロナ特例)	2件	800,000円

### 5) たすけあい資金貸付事業

	1件	100,000円
--	----	----------

### 6) 安心・安全体制づくり（重層的支援体制整備事業）

☆新たに就労的活動支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター機能・地域活動支援センター機能・トータルケア推進事業（CSW）機能・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）機能を活かし、一体的に運営することで、地域共生社会の実現を目指しました。

#### ◎トータルケア推進事業（ネットワーク活動事業）の充実

藤里町民が安心と活躍のある暮らしを続けることができるように、各関係機関や近隣住民と協力しながら、まちづくりを進めていく事業です。民生児童委員・福祉員・行政・各関係機関・地域の方々と協働で活動しました。

#### ① トータルケア推進連絡協議会代表者会議の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止しました。

開催予定日 令和4年1月17日（月）

場 所 福祉の拠点こみっと 大会議室

出席予定者 山本福祉事務所 藤里町民生児童委員協議会

能代警察署藤里駐在所 ニツ井消防署藤里分署 藤琴郵便局

特別養護老人ホーム「藤里」 障害者支援施設「虹のいえ」

藤里町役場町民課 藤里町地域包括支援センター 社協

協議事項 トータルケア推進連絡協議会の今後の在り方について

権利擁護支援の体制構築について

各機関との情報交換

## ② トータルケア推進連絡協議会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため、民協定例会にて研修会を開催しました。

開催日 令和4年3月7日（月）

場 所 藤里町総合開発センター 大ホール

参加者 20名

藤里町民生児童委員協議会 藤里町役場町民課

藤里町地域包括支援センター 社協

内 容 藤里町の権利擁護支援の体制構築について

### ・福祉員研修会議の開催

社協や共同募金事業についての理解を深め、福祉員活動を通じての疑問や意見を共有することで、各地区の実情の把握や新たな課題の発見につなぎ、今後の事業展開へ反映できるように研修会議を開催しました。

① 令和3年9月28日（火）10:00～11:30 19名

② 令和3年9月29日（水）10:00～11:30 5名

場所 福祉の拠点こみっと

内容 共同募金事業について

社会福祉協議会事業（重点事業）について

### ・民生児童委員協議会との連携

毎月1回の定例会への参加（事務局長・地域福祉担当・地域包括支援センター等）

## ◎安心安全の支援事業の拡充（24時間つながるサービス）

24時間オペレーターを配置し、緊急時も含め必要に応じた随時対応サービスを実施しました。NTTの回線工事による一時電話不通のお知らせや、雪害による安否確認等も、当事業の普及啓発とニーズ把握の機会と捉え、社協全体で町内を巡回しました。

一人暮らし高齢者	対象者	279名	登録者	138名
高齢者世帯	対象世帯	199世帯	登録世帯	79世帯
その他世帯			登録世帯	2世帯
相談通報等件数		826件（内夜間対応4件）		

◎高齢者等除排雪事業

97世帯 434件（玄関前 335件、屋根 99件）

◎除排雪に関する雪下ろし安全講習会への参加

開催日 令和3年12月12日（日）9：30～11：00

場 所 粕毛地区 「粕毛交流センター」

参加者 37名（町民21名、消防5名、警察5名、地域振興局2名、  
役場3名、社協1名）

内 容 1. 県内の事故状況及び事例紹介

講師：山本地域振興局総務企画部 2名

2. 安全講習、ロープの結び方、梯子の掛け方

【 介護・生活支援サービス部門 】

○介護・生活支援サービス部門は、介護保険サービスや障害福祉サービス、行政からの委託補助で行うその他サービスを提供します。その人らしい生き方・生活を尊重するため、必ずしも制度の枠にとらわれることなく、必要に応じて柔軟にサービスを提供する地域福祉型福祉サービスを目指して実施しました。

1) デイサービス事業所の受託運営

利用者一人一人のさまざまなニーズに応えられるサービスの展開に努め、年末年始を除く毎日型として提供しました。

開設日時 年末年始を除く毎日（9:30～16:25）  
 場 所 藤里町総合福祉センター  
 定 員 25名/日 ※令和4年2月 30名から変更

通所介護事業所<介護保険対象デイサービス>

(延べ利用人数)

事業対象者	0名	
要支援1	105名	
要支援2	827名	
要介護Ⅰ	2, 537名	
要介護Ⅱ	2, 221名	
要介護Ⅲ	1, 458名	
要介護Ⅳ	276名	
要介護Ⅴ	426名	計 7, 850名

2) ヘルパー事業所の運営

専門職としての技術の向上に努め、各関係機関と連携しながら利用者の立場に立ったきめ細やかなサービスの提供に努めました。

・訪問介護事業

訪問介護員 常勤5名（介護福祉士5名）

パートヘルパー4名（ヘルパー1級1名・ヘルパー2級2名・介護福祉士1名）

<介護保険該当延利用者数>

<延利用回数>

事業対象者	25名	105回
要支援1	81名	338回
要支援2	77名	522回
要介護Ⅰ	233名	1, 434回
要介護Ⅱ	91名	1, 029回
要介護Ⅲ	45名	253回
要介護Ⅳ	13名	172回
要介護Ⅴ	13名	582回
計	578名	4, 435回

- ・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業利用者数 実利用人数 8名 延利用数 52回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4名	4名	4名	5名	5名	4名	5名	5名	4名	4名	3名	5名

要介護Ⅰ 6名 46回

要介護Ⅱ 2名 6回

- ・障害者総合支援居宅介護事業利用者数 延利用回数

区分3 4名

区分1 1名

778回

### 3) 生活支援ハウス「ぶなっち」の受託運営 (延利用人数 116名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10名	10名	10名	10名	10名	10名	9名	9名	10名	10名	9名	9名

### 4) 福祉の拠点「こみっと」及び「くまげら館」の運営

#### ◎障がい者総合支援事業

- ・就労継続支援B型事業

(延人数 1,671名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
149名	132名	155名	146名	152名	140名	140名	114名	120名	131名	127名	165名

- ・自立訓練(生活訓練)事業

(延人数 93名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9名	7名	8名	8名	9名	6名	9名	6名	8名	8名	6名	9名

- ・自立訓練(宿泊型)事業

(延人数 519名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
60名	62名	60名	62名	62名	31名	31名	30名	31名	31名	28名	31名

- ・創作・生産活動事業

(延人数 626名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
62名	56名	61名	60名	62名	55名	58名	53名	40名	41名	37名	41名

#### ◎就労支援事業

- ・福祉の拠点こみっとの運営 (延利用人数 6,233名)

お食事処こみっと	3,271名	事務所	49名
大会議室	1,816名	印刷機使用	26名
小会議室	1,015名	相談	10名
サークル室	46名		

・お食事処こみっとの運営（来客延人数 3, 271名 売上額計 1, 165, 830円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	258名	239名	320名	289名	302名	313名
売上額	79,070円	83,420円	110,580円	110,430円	113,580円	119,930円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
293名	397名	229名	183名	176名	272名
112,430円	143,970円	100,720円	52,980円	50,740円	87,980円

5) 移送サービス事業の受託運営（計 203 件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
20件	16件	15件	17件	19件	15件	18件	17件	13件	15件	18件	20件

移送サービス事業（障害及び透析：透析はなし）の受託運営（計 39 件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3件	4件	2件	3件	3件	3件	4件	4件	3件	2件	3件	5件

6) 介護予防・日常生活支援総合事業受託運営

◎訪問型サービス

- ・訪問介護相当サービス

◎通所介護サービス

- ・通所介護相当サービス（社協）
- ・通所型サービスA（湯の沢）

◎その他の生活支援サービス

- ・栄養改善を目的とした安否確認付き配食サービス  
週5回（月曜～金曜）

利用人数 76名（一般67名 総合事業 9名）

延食数 10, 258食（一般9, 356食 総合事業902食）

- ・定期的な安否確認及び緊急時の対応

実利用人数 4名

延利用回数 208回

◎介護予防マネジメント（委託先事業所：居宅介護支援事業所 2件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
43件	41件	45件	43件	47件	46件	43件	44件	43件	38件	35件	42件	510件

◎一般介護予防事業

- ・介護予防把握事業
- ・介護予防普及啓発事業（まち自慢クラブ事業）
- ・地域介護予防活動支援事業
- ・一般介護予防事業評価事業

① 令和4年4月26日（月）～28日（水）

② 令和4年7月21日（水）～22日（木）

「活躍支援と介護予防・介護予防マネジメントについて」

講師 エイデル研究所 丹羽勝氏

延参加者数 10名

7) グループホーム美里園の運営（令和4年2月1日から開始）

・定員：18名（9名×2ユニット）（延利用人数 36名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
										18名	18名

## 令和3年度補助金等による事業の実施

### ◎秋田県社会福祉協議会 権利擁護支援の体制構築モデル事業助成金

地域住民が障害の有無や年齢、資力等にかかわらず、尊厳をもってその人らしく安心して生活を送ることができるよう、社会福祉協議会が地域連携ネットワークの中で中核機関を担い得る機能を備えるとともに、成年後見制度の利用促進に資することを目的として下記の事業を実施しました。

- ・権利擁護センターの設置及び法人後見実施に向けた地元行政や関係機関との検討
- ・関係機関との合意形成を目的として研修・セミナーの開催
- ・アドバイザーによる現地指導の受入れ

①令和3年8月 藤里町役場との打ち合わせ 5名

②令和3年9月15日(水)「藤里町における権利擁護センターの役割と体制づくり」  
アドバイザー 弁護士 藤原美佐子氏 15名

③令和3年9月15日(水)「法人後見の実際」  
講師 三種町社会福祉協議会事務局長 安達隆氏 15名

④令和3年12月14日(火)「事例検討」  
アドバイザー 弁護士 藤原美佐子氏 13名

⑤令和4年3月7日(月) 民生児童委員を対象に権利擁護についての研修 20名

⑥令和4年3月11日(金) 先進地視察研修(オンライン) 14名  
講師 鱒ヶ沢町社会福祉協議会事務局長 井上雅哉氏

⑦令和4年3月23日(水) 藤里町地域包括支援センター運営協議会にて  
権利擁護についての研修 11名

⑧令和4年3月25日(金) 介護者の集い「権利擁護についての勉強会」  
11名参加予定 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため  
勉強会は中止し、資料をお届けしました。

### ◎秋田県介護サービス事業所等感染症対策支援事業費補助金

### ◎秋田県障害福祉サービス事業所等感染防止対策新事業費補助金

サービス事業所が、感染防止対策を継続的に行うため、衛生用品(マスク、消毒液、手袋等)を購入しました。

○令和3年度藤里町体験プログラムコーディネーター一覧

藤里町体験プログラムや特産品等、町の魅力を全国へ発信し、丁寧にコーディネーターを行いました。（体験や視察・見学の受入、講演や実践発表の依頼対応等含む）

No.	日時	受け入れ施設等	地名	オンライン	参加者数
1	4月30日	秋田市福祉保健部福祉総務課	秋田県		1名
2	7月30日	令和3年度転入教職員等町内巡り	教育委員会		16名
3	9月25日 ～27日	藤里体験プログラム体験			1名
4	10月	社会福祉法人女川町社会福祉協議会	宮城県	動画提供	
5	10月6日	能代松陽高校	能代市		2名
6	10月28日	五城目町地域包括支援センター	五城目町		2名
7	11月1日	京都府福知山市役所 政策人財プロジェクトチーム「8050問題」	京都府福知山市	○	1名
8	11月4日	藤里体験プログラム見学	宮城県		2名
9	11月5日	神奈川県横浜市健康福祉局 地域包括ケア推進課	神奈川県横浜市	○	4名
10	11月16日 ～18日	品川区社会福祉協議会 しながわ版 藤里町体験プログラム	東京都品川区		2名
11	11月17日	福井県越前市社会福祉協議会 在宅サービス 検討プロジェクト	福井県越前市	○	7名
12	11月17・18日	公益財団法人地方自治総合研究所	東京都		4名
13	11月29日～ 12月3日	藤里町体験プログラム	神奈川県		1名
14	12月24日	特定非営利活動法人 きらりよしまネットワーク	山形県		13名
		計			56名